

平成23年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	薬剤師生涯教育推進事業		担当部局庁	医薬食品局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度		担当課室	総務課		課長 宮本 真司		
会計区分	一般会計		施策名	IV-1-9 医薬品の適正使用を推進する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	・平成22年4月22日厚生労働省発医政0422第7号「医療関係者養成確保対策費等補助金、医療関係者研修費等補助金及び臨床研修費等補助金の国庫補助について」				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	病院・薬局に勤務する薬剤師を対象に先進的な取組を行う病院・薬局において実地研修を行い、チーム医療や地域医療の推進に貢献する薬剤師を養成することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	病院や薬局等の医療機関に勤務している薬剤師を対象として、チーム医療・地域医療に貢献するために必要な知識及び技能を習得させるため、医療現場等において医師や看護師等と協働した高度な医療に関する実務研修等を行う。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算			21	21	18	
		繰越し等						
		計			21	21	18	
	執行額			21				
	執行率 (%)			100%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	基準調剤加算(1及び2)の届出件数		成果実績	件数	—	24,584	集計中	—
			達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	本事業への参加人数		活動実績		—	—	892	—
			(当初見込み)				(125)	(892)
単位当たりコスト	88 (千円/本事業への参加人数1人あたり)		算出根拠	本研修事業の補助金額(執行額)÷本事業への参加人数				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	医療関係者研修費等補助金	21	18	事業の一部を縮小したことによる減				
	計	21	18					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>事業点検を踏まえ、平成23年度以降も薬剤師の生涯研修を通じて、地域におけるチーム医療の充実に努めるとともに、成果物について改善を加えるなどより効果的な研修事業の実施ができるよう検討を行う。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善		<p>薬剤師生涯教育推進事業について、恒常的に多額の不用が生じているわけではないが、執行実態を精査のうえ効率化を図ること。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>事業の優先度を勘案し、研修規模を縮小した (反映額: ▲3百万円)</p>			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p></p>			

※平成22年度実績を記入

厚生労働省  
21百万円  
[チーム医療や地域医療の推進に  
貢献する薬剤師を養成する]

【公募・補助金】

A.(社)上田薬剤師会  
21百万円  
[先進的な取組を行う病院・薬局において  
実地研修を行うための企画立案・調整を行う。]

B.事務費  
11百万円  
[総括委員会等の旅費及び謝金  
印刷費、会場借料等]

C.研修講師(のべ139人)  
10.3百万円  
[研修講師への謝金  
及び旅費]

資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位:百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.(社)上田薬剤師会			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
諸謝金	講師への謝金	6			
委員等旅費	講師への旅費	4			
印刷製本	報告書等の印刷	4			
借料及び損料	研修施設使用料	3			
諸謝金	総括委員会等委員への謝金	2			
委員等旅費	総括委員会等委員への旅費	2			
計		21	計		0
B.事務費			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
印刷製本	報告書等の印刷	4			
借料及び損料	研修施設使用料	3			
諸謝金	総括委員会等委員への謝金	2			
委員等旅費	総括委員会等委員への旅費	2			
計		11	計		0
C.研修講師(のべ139人)			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
諸謝金	講師への謝金	6			
委員等旅費	講師への旅費	4			
計		10	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

B. 事務費

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	総括委員会委員	旅費及び謝金	4		
2	(株)国際事務センター	英語教科書翻訳及び印刷	1.8		
3	東海大学	会場借料	1.3		
4	(株)日広	講演資料印刷	1.1		
5	イイジマ薬局	会場借料	0.3		
6	い内科クリニック	会場借料	0.3		
7	上田薬剤師会	会場借料	0.3		
8	慶應義塾大学	会場借料	0.2		
9	個人A	事務局事務補佐員	0.2		
10	矢嶋診療所	会場借料	0.2		

支出先上位10者リスト

C. 研修講師

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	講師A	研修講師	0.07		
2	講師B	研修講師	0.07		
3	講師C	研修講師	0.07		
4	講師D	研修講師	0.07		
5	講師E	研修講師	0.07		
6	講師F	研修講師	0.07		
7	講師G	研修講師	0.07		
8	講師H	研修講師	0.07		
9	講師I	研修講師	0.07		
10	講師J	研修講師	0.07		